

代表質問

新年度予算について問う



やちまた21 小澤 定明

測量等調査業務について

**問** 測量等調査業務について、交通量調査をし、どのように日常業務に反映させていくのか。交通量調査業務委託について伺う。

**市長**

今後、交差点に右折車線設置を計画的に推進していくためにも、この交通量調査が必要であると考えております。この調査で、市内の交差点を中心に道路状況を精査し、どこが渋滞するのかピックアップして、優先順位を設け、右折車線の整備等に活用したいと考えております。なお、調査箇所につきましては、市内交差点を中心に約40カ所程度を予定しております。

**問**

今回の調査箇所、40カ所のうち、重点調査箇所と目的市道の未登記箇所は、どのくらいあるのか。今後、どのくらいの期間で未登記を解消できるのか。測量調査業務委託について伺う。

**市長**

新年度におきましては、市道六区1号線の拡幅のための用地測量及び物件調査業務

と一区19号線道路冠水対策としての用地測量業務と、四木及び西林地区の排水路整備のための用地測量業務を予定しております。

そのほか、市道の未登記路線に関する用地測量業務等も引き続き実施していきます。

市特産品PR経費について

**問** 若い人たちが参入できる、参入しよう

と考える基幹産業にしているためには、もっと積極的な予算計上の検討が求められる。

そこで、スイカ、ニンジン、トマトのPRと、1ブースでの販路の拡大方法について伺う。

**市長**

市特産品のPRにつきましまして、「八街収穫祭」や「千葉県観光案内及び物産展」に参加するなど、さまざまな機会を捉えて行ってきたところです。特に、今年度は千葉県で開催されました国体の開会式や、本市で行われたバウンドテニス大会の会場におきまして、フルーツアンドキャロットジュースの試飲やトマトの販売

などを行いPRに努めてきたところでは、新たな取り組みとしましては、来年度幕張メッセを会場に行われる、アジア最大級の食品・飲料専門展示会「フーデックス・ジャパン」に出展するためのブース代を予算計上したところです。

このほか、各地域の特産品等をPRするため、無料でスペースが提供される、日本橋イベントスペースへの出展にも応募しているほか、NHK「ふるさとの食につぼん」食 全国フェスティバル」といったブース代が徴収されないイベント等にも積極的に参加し、PR活動を展開していきたいと考えてます。

地区コミュニティ

**問**

安全・安心な街づくりは、健全なコミュニティが醸成されて、初めて実現されるものではないか。区長会議などでの交流からはじめ、各地域の一人ひとりまでに、声かけ運動をしていくことが大事なのではないか。

そこで、事業補助金等について伺う。

**市長**

新年度予算には、地区コミュニティ事業補助金699万円を計上しております。これは、地域社会に対する関心や連帯感を深める中で、地域住民のコミュニティ活動を推進し、市行政の発展と市民福祉の増進を促すため、市民が自ら考え、自ら行うための補助として、39の地区の自治組織に対し補助しております。

補助の内容ですが、運営費補助として、一律2万円、事業費補助として、一世帯につき330円、集会施設維持管理費補助としては、30の区に対し、2万円を補助しております。

なお、新年度予算には計上しておりませんが、コミュニティ集会所の修繕費や建て替え等が生じた場合には、八街市地域集会施設建設費等補助金交付要綱により、区からの申請に基づき予算の範囲内で補助する制度もあり、必要に応じて活用していただきたいと思っております。

**問**

区への加入促進について伺う。

**市長**

市といたしましては、本市へ

転入された方に、市民課窓口において、区への加入を進めるリーフレットの配付を行うとともに、ホームページへの掲載を行っており、区長さん方に対しましても自主的に区への加入を働きかけていた、たくよう、お願いをしているところです。

水道事業会計について

**問**

石綿管、アスベスト問題は社会的問題であるが、石綿セメント管の更新について伺う。

**市長**

石綿セメント管の更新につきましましては、平成6年度から計画的に着手し、残りの総延長は、約50キロメートルであります。本事業は、有収率を向上させるための最優先すべき事業として取り組んでおります。具体的には、漏水多発箇所を優先的に、かつ、費用対効果を踏まえて、道路改良工事や民間ガス事業者の布設等とあわせて実施しております。さらに、毎年行っております、漏水調査の結果を計画に組み入れております。